

1 沿革

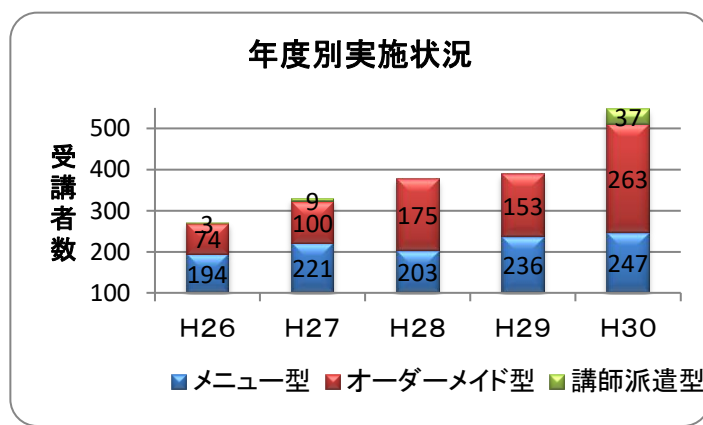
- 昭和27年 「埼玉県川口公共職業補導所」として仲町に開所
- 昭和36年 現在地に移転
- 昭和61年 「埼玉県立川口高等技術専門校」に改称
- 平成3年 鉄筋コンクリート造4階建て校舎を竣工、情報処理科、空調システム科、ビル管理科ほかを設置
- 平成16年 機械科（デュアルシステム）を設置
- 平成20年 空調システム科を2年課程とし、現在の体制に至る

2 特色

- 就職率 情報処理科：100%（6年連続）、空調システム科：100%（5年連続）
機械科（デュアルシステム）：92.3%、ビル管理科：83.1%
- 多様な訓練コースを設置（若者向け、中高年向け、企業と連携したデュアルシステム）

3 企業への支援

- メニュー型 : 14講座 247人
- オーダーメイド型 : 28講座 263人
- 講師派遣型 : 5講座 37人
- 講座の例
資格取得 : 第二種電気工事士、介護福祉士など
スキルアップ : AutoCAD、SolidWorksなど
企業のニーズに対応
汎用旋盤基礎研修、マシニングセンタ基礎研修
各種技能検定受検対策



4 地域との連携

- 近隣中学校（青木中学校）との地域ふれあい授業
ものづくり体験教室 : ポンポン船をつくろう
- 市主催イベントへの参加
川口市市産品フェア : 全日本製造業コマ大戦 川口市市産品フェア2018場所へ参戦、4位入賞
川口市生活フェスティバル : 『たたら祭り』に作品展示、ものづくり体験イベント実施



ポンポン船をつくろう（青木中学校）



川口市市産品フェア（コマ大戦）



川口市生活フェスティバル（たたら祭り）

5 設置科目（求職者向け訓練）

◎ 4科目 年間定員200名

情報処理科（2年訓練）

○ 定員 30名（延べ定員60名）



（Javaプログラミング実習）

—実践的な学習で実力あるプログラマ・システムエンジニアの育成—

- パソコンだけでなく汎用コンピュータを使用してプログラムの作成からシステム設計まで学びます。
- プログラミング言語のC、Java、COBOLさらにはコンピュータネットワークや運用技術なども学びます。
- 「知っている」ではなく「書ける」知識と技術レベルを目指して、2年生では数多くのプログラム制作に挑戦します。

空調システム科（2年訓練）

○ 定員 30名（延べ定員60名）



（業務用エアコン点検の実習）

—現場で生かせる技術を身に付けた空調技術者の育成—

- エアコンを中心とした冷凍・空調機設備の据付工事・点検・修理の技術を身に付けます。
- 電気工事士、冷凍機械責任者、ボイラー技士などの国家資格を取得。合格率は全国平均を大きく上回っています。
- 冷凍機やボイラーなどの多くの機械に触れて工事の実践力を身に付け、ビル設備全般に対応できる力を養います。

機械科（デュアルシステム）（1年訓練）

○ 定員 20名（H29から10名×2回）



（汎用旋盤の加工実習）

—デュアルシステム訓練で実践的なものづくり技術者の育成—

- 8か月の校内訓練に加え4か月の企業実習により、実践的な技術・技能、社会性を身に付けます。
- 校内訓練では、まず金属加工の基礎である汎用旋盤・フライス盤の技術を身に付けます。
- また、NCやMCの数値制御の工作機械技術も習得します。
- H31. 1月入校生が9月から企業実習を開始します。

ビル管理科（6か月訓練）

○ 定員 30名×2回（延べ定員60名）



（電気設備の実習）

—空調・電気・給排水などの建築設備・保守管理技術者の育成—

- ビル管理の仕事に必要な資格（電気工事士、ボイラー技士、消防設備士など）を取得します。
- 訓練では、実際の設備機器を出来るだけ体験して実践力を身に付けるようにしています。
- また、ポリッシャーなどを使った清掃実習も行い、就業できる範囲を広げています。
- 現在、7月入校生が訓練中です。

